

WCS 用飼料稲新品種の実証

要約

WCS 用稲「つきすずか」について栽培試験を実施したところ、乾物収量は 1,347kg/10a、穂重割合 11.2%となった。また、採種試験では、牛ふん堆肥なし（前年作付け時に 1t/10a 施用）、基肥なし、追肥（出穂期 24 日前）の窒素量 10kg/10a の条件で穂重が 389kg/10a と上記栽培試験の 151kg/10a に比べて 158%多くの種子を得ることができ、発芽率も 99%と高かったことから、本品種は本地域での栽培適性があることが確かめられた。

○ 展示のねらい

本県の基幹品種となることが期待される縞葉枯病の抵抗性を有する飼料用稲の新品種「つきすずか（中国飼 2 1 9 号）」について、栽培・調製技術を実証する。

○ 主な成果

- 栽培試験を実施したところ、の牛ふん堆肥 1t/10a、基肥窒素量 6kg/10a（JA しおのや飼料米専用側条 044）の条件下で乾物収量が 1,347kg/10a、穂重割合は 11.2%であった。収量は参考値である「たちすずか」の 1,416kg/10a に比べると低収であった。縞葉枯病が全県的に広がっていることを考慮すると本病への抵抗性を有する「つきすずか」は、WCS 稲を生産する本地域の農家にとって有望であると考えられた。
- 採種試験を実施したところ、牛ふん堆肥なし（前年作付け時に 1t/10a 施用）、基肥なし、追肥（出穂期 24 日前）の窒素量 10kg/10a の条件で穂重が 389kg/10a、発芽率 99%であり、本地域での栽培適性があることが確かめられた。

表1 栽培試験収量調査

	調査実施日 (月 / 日)		全重 (kg/10a)	茎葉重 (kg/10a)	穂重 (kg/10a)	穂重割合 (%)
つきすずか	10/12	新鮮重	3,953	3,695	258	6.5
		乾物重	1,347	1,196	151	11.2
(参考値) たちすずか	10/12	新鮮重	4,526	4,307	234	5.2
		乾物重	1,416	1,274	142	10.1

表2 採種試験収量調査

調査実施日 (月 / 日)		全重 (kg/10a)	茎葉重 (kg/10a)	穂重 (kg/10a)	穂重割合 (%)
10/25	新鮮重	3,695	3,136	560	17.8
10/25	乾物重	1,297	908	389	30

○ 今後の方向性

自家採種を行う際には、堆肥隔年1t/10a施用（牛ふん）、基肥なし、追肥の窒素量 10kg/10a（出穂24日前）といった特殊な栽培方法となるため、土づくりの段階から生産者への情報提供が必要。

実施機関：塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 実施場所：さくら市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315